

書

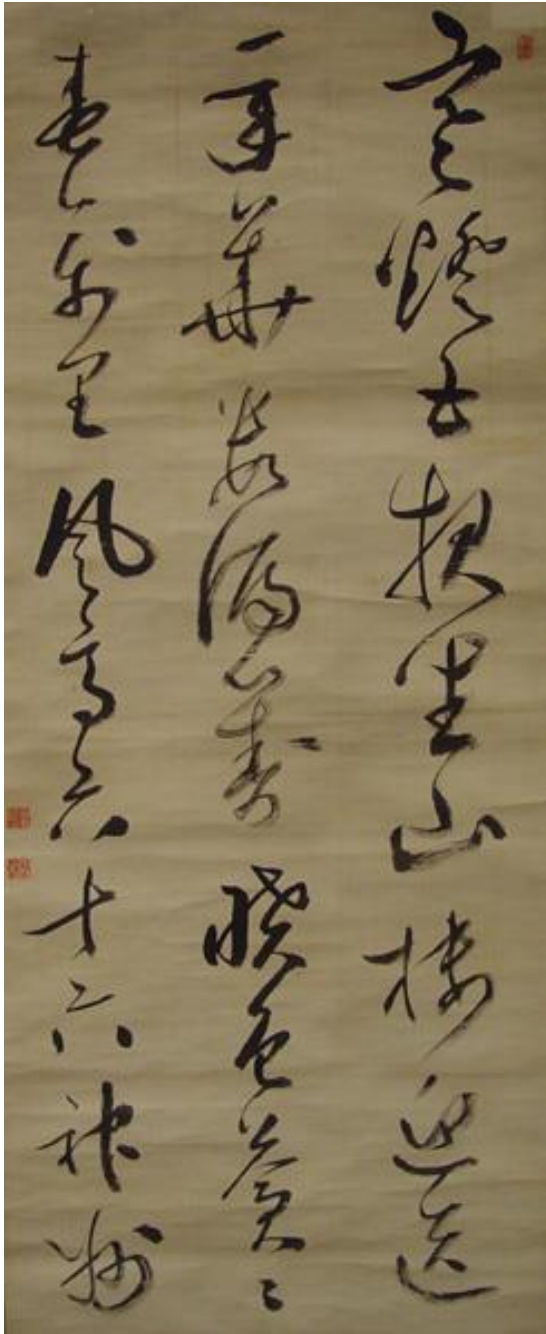
亀井昭陽

制作年：江戸後期

サイズ：96.5×38.7cm

材質：絹本墨書

所蔵：中津市木村記念美術館



本文：「寒燈白夜坐山楼 迎送/年華数編箋暁色蒼々/春萬里 風高六十六神洲」

画面右上：「□□□□」（白文方印）

画面左：墨書「亀井昱印」「□□」（白文方印）

箱書：表「亀井昭陽先生書」

裏「亀井昭陽字昱、筑前福岡住、南溟除八魯ノ長男也、黒田藩儒者也、父子俱興雲華有親交 淡水」

1996(平成8)年に中津市に寄贈

亀井昭陽（かめいしょうよう、安永2(1773)～天保7(1836)）は江戸後期の儒学者で、亀井南溟の長子にあたります。福岡に生まれ、諱は昱、字は元鳳、通称昱太郎、号は空石・月窟・天山遯者など諸号があります。父の後を継ぎ福岡藩儒を務めました。著書に「左伝續考」「読弁道」などがあります。